



一脚一脚ていねいに。デザインと技術をひとつに繋ぐ。
樹種と張り地のバリエーションを豊富に取り揃え、
一人ひとりの要望にきめ細かく対応。
使っていただき人の声に耳を傾けながら、
日本でつくる意味と価値がある椅子づくりを目指します。

1 デザイン

デザイナーとのワークショップ方式での開発を中心に、良質なオリジナルデザインを探求します。明快なコンセプト、スタンダードなデザイン、愛着を持って付き合える木の椅子。人と空間との親和性を大切にデザインします。

2 製作・技術

手仕事と機械加工の良いところを一体にして、オリジナルの工場技術を高めています。精度の高い加工、丁寧な仕事、厳しい品質チェック。手間ひまを惜しまず、コストにも配慮。今はまだできないことに、積極的に挑みます。

3 素材

十分に自然乾燥させた木材を、最後に人工乾燥機にかけて水分を抜きます。その後、含水率12%程度まで自然に回復させると、狂いが少ない無垢材になります。木肌を生かすために、蜜蠟ワックスまたはオイルで仕上げます。

4 修理・補修

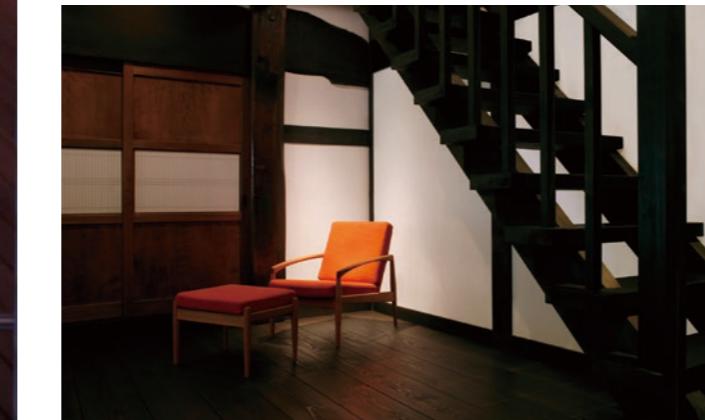
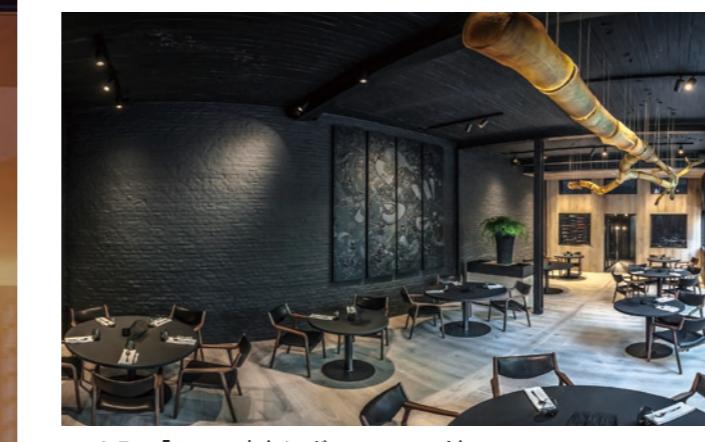
すべての製品は国内の自社工場で生産しています。木部、張り、クッション、あらゆる修理・補修に対応します。製品を長く大切に使っていただくことがメーカーにとっての喜びです。生産休止製品の修理・補修にも応じます。

5 コスト・受注生産

生産の流れの合理化、材料ロスの最小化を図るなど、ムダを省いた小ロット多品種生産体制で、多くの樹種と張り地を選んでいただくことができます。受注生産体制により、特注・別注にも柔軟に対応可能です。

商業空間納入事例

カフェ、ショッピング、飲食店、旅館、図書館など、さまざまな公共・商業施設でも納入実績を重ねています。



デザイン賞受賞製品

暮らしを豊かにするデザインとして国内だけでなく、ドイツ、イタリア、香港で栄えある賞を受賞しました。

ENNE

2002 グッドデザイン賞
d. Murasawa Kazuteru

R+R

2004 グッドデザイン賞
中小企業庁長官賞
d. Koizumi Makoto

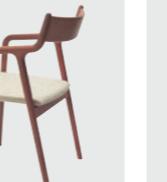
ORI

2005 グッドデザイン賞
d. Koizumi Makoto

pepe

2005 グッドデザイン賞
d. Murasawa Kazuteru

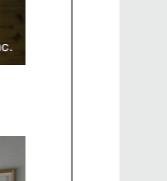
kuku

2006 グッドデザイン賞
d. Koizumi Makoto

Bon

2007 グッドデザイン賞
d. Chiba Tadashi

sansa stool

2008 グッドデザイン賞
d. Koizumi Makoto

rib

2009 グッドデザイン賞
d. Murasawa Kazuteru

UU chair

2009 グッドデザイン賞
d. Koizumi Makoto

GINA

2010 グッドデザイン賞
中小企業庁長官賞
d. Murasawa Kazuteru

DC09

2011 iFアワード金賞
d. Inoda+Sveje

KAKI no ISU

2011 グッドデザイン賞
d. Furuta Keisuke

DC10

2013 アジアデザイン賞銀賞
d. Inoda+Sveje

LUNA

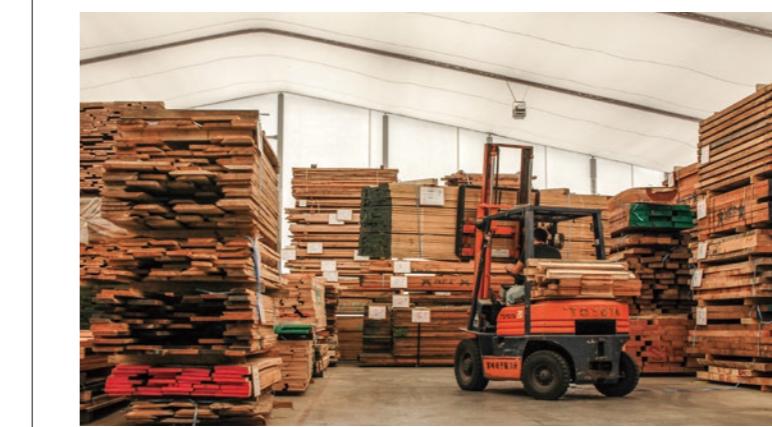
2015 グッドデザイン賞
d. Murasawa Kazuteru

bo chair

2014 グッドデザイン賞
BEST100
2018 Aデザインアワード銅賞
d. Koizumi Makoto

選べる樹種と張り地

一人ひとりのご希望にきめ細く対応するために、樹種は8種類、張り地は60種類以上から選べます。



椅子専門、頭と手のものづくり。

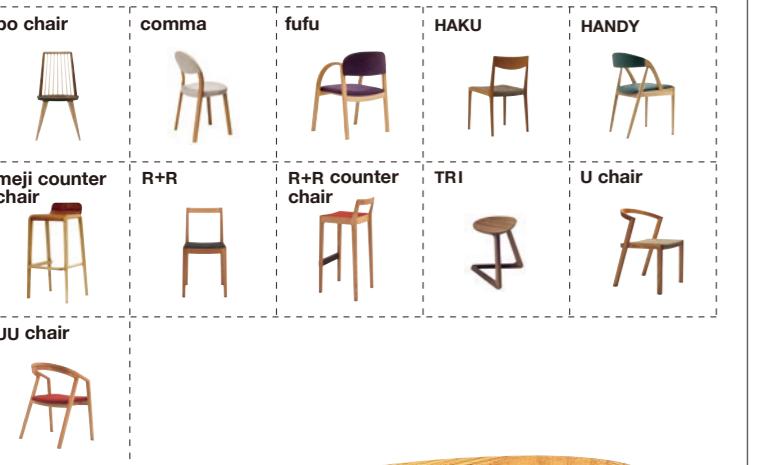
あの椅子この椅子、デザインの裏に技術あり。

こんな椅子をつくりたい。その思いが伝わるように、
宮崎椅子製作所ならではの椅子を追求するために、
デザインと技術を一体にしたものづくりを追求します。
試作と試行錯誤から見いだした特徴的な技術と、
それぞれの技術が活かされている製品をご紹介します。



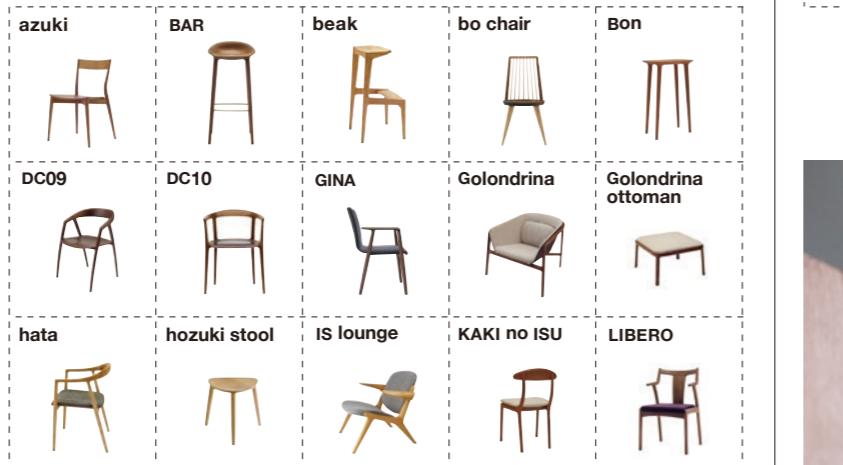
ひねり切削

刃物の傾きを変化させながら削り出すことで、
3次元のひねり形状をもった細身で美しいシルエットを実現する。



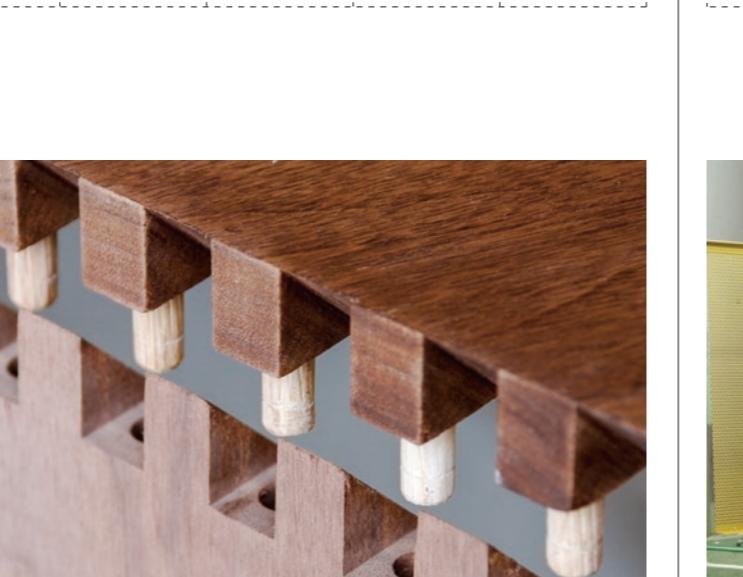
自由曲面切削

さまざまな形状の刃物を駆使して曲面を精巧に削り出すことで、
身体に馴染む形状と豊かな木部の表情を生み出す。



たこやき工法

材料の表と裏を2回に分けて切削することで
丸みをおびた連続性のある形状をつくりだす。



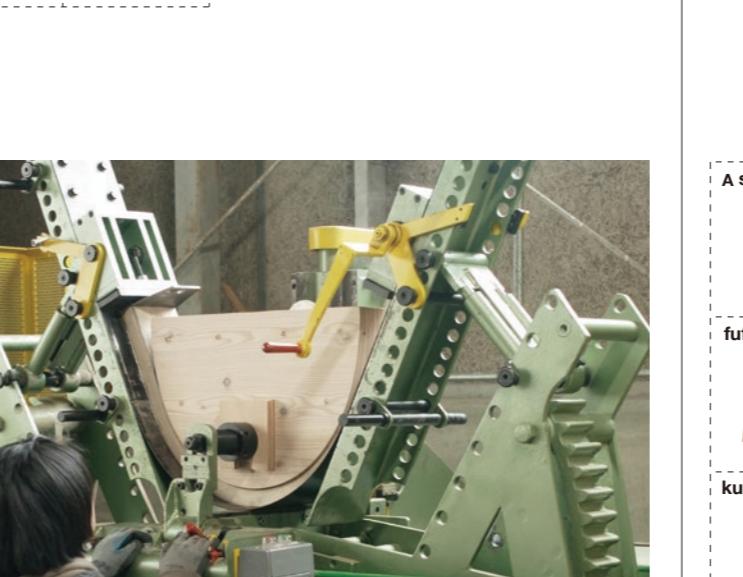
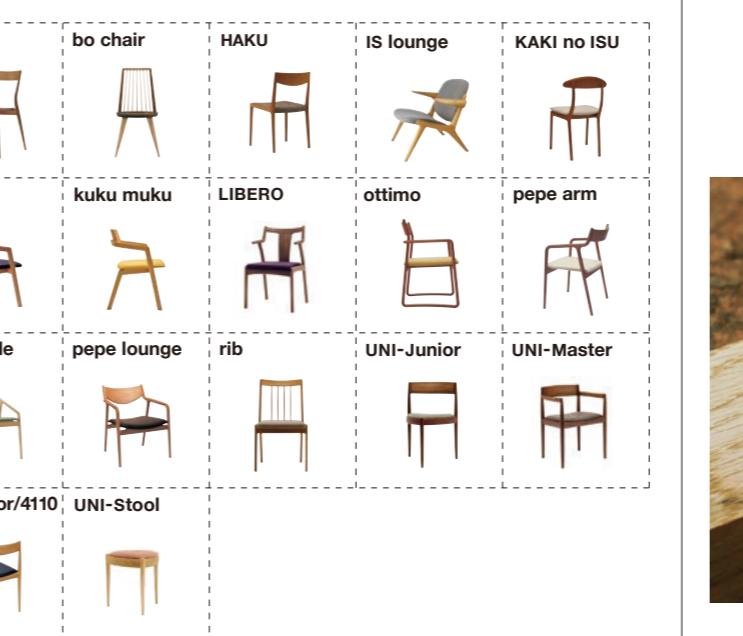
特殊留め形組接ぎ

伝統的な接ぎ方を進化させ、薄板から立体的なデザインを
実現するために職人の知恵で生み出されたオリジナル仕口。



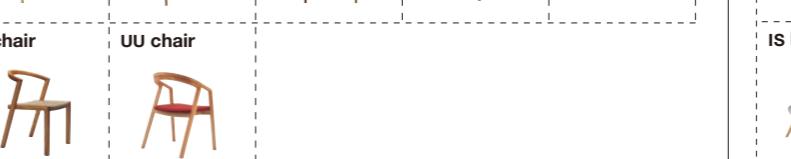
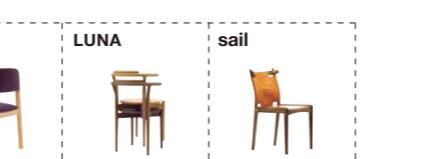
曲木×表面切削

曲木の表面に機械加工を施すことで
均一で精度の高い仕上がりを実現する。



厚板曲木×立体切削

より厚く、より強い曲がりを実現させ、そこから立体的な形を削り出す
ことでデザインの可能性を飛躍的に広げるハイブリッド技術。



多方向フィンガージョイント

フィンガージョイントを応用し、
多方向から組み合わせ強度と美しさを兼ね備えた工法。



立体縫製

平面の布から立体的な曲面形状を生み出す裁断と
縫製の技術により、椅子に豊かな表情を与える。

